

石田 真知 マリンバ・リサイタル

MACHI ISHIDA

『シュツットガルト  国際マリンバコンクール2022』

The 7th World Marimba Competition Stuttgart 2022
1st Prize Memorial Marimba Recital

優勝記念

フランス留学から帰国。
コンクールで披露した名曲を再演！
大ホールでのマリンバの豊かな響きをご堪能ください。

2023. 2/24 

開演18:45 (開場18:15)

広島市文化学園
HBGホール

(旧 広島厚生年金会館)

〒730-8787 広島県広島市中区加古町3-3
TEL : 082-243-8488

彼女はなぜ優勝できたのか。
コンクール人生最後の挑戦を今語る。

PROGRAM

J.S.バッハ

無伴奏ヴァイオリン ソナタ第1番より
パルティータ

N.ザヴァテロ

回想: マリンバのための ラフマニノフ

G.バートン&小曽根真

Times Like These (ヴィブラフォン)

コンクール 委託作品: E.クエンジアン

Azure ~マリンバとテープのための~
ほか

料金 [全席自由]

- 一般 / ¥3,000
- 学生以下 / ¥1,000 (当日各プラス¥500)

チケット取り扱い

- ヤマハミュージック広島店 082-244-3666
- エディオン広島本店プレイガイド 082-247-5111
- 電子チケットぴあ Pコード233480
(全国のセブンイレブンで購入できます。)
- 以下問い合わせ先

ご予約/お問い合わせ

- 石田真知オフィシャルLINE (下QRコード)
- ishidamachi.marimba@gmail.com

写真: フランス・ストラスブール 

【お客様へのお願い】 ●発熱、咳、咽頭痛の症状があるなどの体調不良の場合は、入場及び利用を自粛して下さい。
●お客様はマスクを着用してご来場ください。●手洗いや消毒を行なってください。ご協力をよろしくお願いいたします。

主催: 石田真知リサイタル実行委員会

協賛: 株式会社ヤマハミュージックジャパン, ミュージックスパイス株式会社

後援: 公益財団法人ヒロシマ平和創造基金, Kolberg Percussion GmbH, Germany

エリザベト音楽大学, 広島大学大学院人間社会科学部研究科音楽文化教育学領域

-----Follow Me!-----



<コンクール受賞歴>

- 2006年 第9回 大阪国際音楽コンクールデュオ部門
同部門最年少でエスポワール賞
- 2016年 第18回 広島県さくらびあ新人コンクール
審査員特別奨励賞
- 2017年 第1回 台湾打楽器国際コンクール
(The 1st Taiwan International Percussion Convention Competition)
第2位、台湾国家音楽庁にて入賞者コンサートに出演
エリザベト音楽大学より 学長賞
- 2019年 第1回 スイス打楽器コンクール
(The 1st Swiss Percussion Competition)
妹・真歩と「デュオ・トリオ部門」第1位
- 2021年 第8回 ベルギー国際マリimbaコンクール
(The 8th Universal Marimba Competition Belgium)
第4位・課題曲「Ulular del Tigre」演奏最優秀賞
- 2022年 第7回 シュツットガルト国際マリimbaコンクール
(The 7th World Marimba Competition Stuttgart)
第1位・聴衆賞・委嘱作品「ENIGMA」演奏最優秀賞
(日本人初の優勝、及び史上初の3冠を獲得)

マリimba
ヴィブラフォン
パーカッション

石田 真知

Machi Ishida, Marimba/Vibraphone/Percussion

広島県三つ子の長女として生まれる。音楽教育に携わる母により音楽と共に育つ。母にピアノを習い、9歳からマリimbaを始める。15歳まで広島ジュニアマリimbaアンサンブルのメンバーとして、国内外での演奏活動に参加する。マリimbaの音色、音楽で生まれる楽しさや幸せを受け与える力を体感し、マリimbaに夢中になる。

中学校・高校では吹奏楽部に打ち込む。その後、広島大学教育学部 音楽文化系コースに入学。学業の傍ら、同学部打楽器専攻生による「HUPPs」のメンバーとしてアンサンブルを中心に演奏会を展開し、東広島地域の活性化に寄与する。大学でマリimbaを佐藤須美子氏、作曲・編曲法を徳永崇氏に師事。卒業後、エリザベト音楽大学 大学院に進学し、器楽専攻修士号を取得する。マリimbaを神谷百子氏、その他打楽器を小川裕雅氏に学ぶ。ドイツの首都ベルリンで開催された「ヤング・ユーロ・クラシック音楽祭」のオーケストラの団員に選ばれる。学業の傍ら、妹・真歩と「マリimba ツインズ」として精力的に演奏活動に取り組み、デュオ演奏ならではの魅力や面白さを追求する。

18歳で初リサイタルを開催し、学校の音楽鑑賞会や福祉施設、児童館、公民館、祝賀会での演奏を行う。

大学院卒業後フランスのストラスブール音楽院にて、エマニュエル・セジョルネ氏 (Emmanuel Séjourné) に師事し、マリimbaとヴィブラフォンを学ぶ。また、トマ・ヴォンドヴェン氏 (Thomas Vandevienne) より、ドラブッカやリック、トンバックなどの東ヨーロッパ・北アフリカの民族打楽器を学ぶ。卒業試験では、審査員から満場一致・最高評価を受ける。2022年、ストラスブール・サントマ音楽学校主催の打楽器フェスティバル「Place ô Rythme」にて、リサイタルを行う。2019年、公益財団法人ヒロシマ平和創造基金より、奨学金受賞者に選ばれる。

2018年 福井マリimbaセミナーマスタークラスにて、エマニュエル・セジョルネ、神谷百子、布谷史人、小川佳津子各氏の指導を仰ぐ。

シュツットガルト打楽器メーカー Kolberg Percussion GmbH, Germany マレットアーティスト。

【シュツットガルト国際マリimbaコンクールってどんなコンクール?】

1994年、日本のマリimba界のバイオニアである安倍圭子氏が、シュツットガルトの打楽器教授の Klaus Tresselt 氏と設立しました。4年に1回開催され、今回第7回目は10年ぶりの開催となりました。マリimba国際コンクールの中で最も歴史が長く、世界最大のマリimbaコンクールと位置付けられています。マリimbaはクラシック楽器の中では歴史が浅いため (クラシック楽器としてのマリimbaが作られたのは約100年前。ピアノは300年以上前。) マリimbaのための作品は音楽史的に見ると新しいものばかり。このコンクールでは全約10曲のレパートリーが求められます。クラシック音楽から現代音楽、オーディオと合わせて演奏するスタイルなど、幅広い音楽で構成されます。安倍圭子氏は、「ステージに立つ参加者は、人間として謙虚になってほしいと願っています。楽譜に忠実で、作曲者の意図を正確に理解し、音楽に集中し、純粋に向き合う努力が必要です。」と参加者にメッセージを送っています。



Special Guest Musicians



マリimba 石田真歩

エリザベト音楽大学演奏学科卒業、同大学第50回卒業演奏会出演。同大学大学院で器楽専攻修士号を取得。2017年「オーケストラシリーズ第35回広島」に選出され、ソリストとして広島交響楽団と共演。2019年フランスのストラスブール音楽院にて、エマニュエル・セジョルネ氏 (Emmanuel Séjourné) に師事しマリimba学ぶ。また、トマ・ヴォンドヴェン氏 (Thomas Vandevienne) より、ドラブッカやリック、ダフなどの民族打楽器を学ぶ。2021年、同音楽院の卒業リサイタルにて、審査員から満場一致・優等学位・最高評価を受ける。2022年、サン・ピエール・ル・ジュヌ・ストラスブール教会にて、ソロリサイタルを行う。自ら楽曲をアレンジすることに積極的に取り組み、多数の作品を編曲。2019年、公益財団法人ヒロシマ平和創造基金より、奨学金受賞者に選ばれる。2019年 第1回 スイス打楽器コンクールで、姉・真知と「デュオ・トリオ部門」優勝。2020年 フランス・レスタ社 (Resta Jay France) より「Jeune talent 2020」受賞。2021年 第8回ベルギー世界マリimbaコンクール第2位。



キーボード 笠岡里沙

エリザベト音楽大学、デジタル鍵盤楽器法研究科卒業、同大学大学院修士課程修了。在学中より「サウンド・オブ・ミュージック」『The Phantom of the Opera』『魔笛』『コジファントゥッテ』など、その他多数のミュージカルやオペラにて編曲・電子オルガン伴奏を務める。現在、キーボーディスト・アレンジャーとして活動しており、ホテルやラウンジピアニストとして演奏活動する他、広島で活動するミュージシャンのライブやレコーディングに参加、またテレビCMや企業テーマソングなどの作曲を行っている。自身のリトミック経験から、子ども向け音楽にも力を入れており、YouTubeチャンネル『びっちゃんネル』を配信。『風のね。』『Iris』『Pic Ploc』のメンバー。(株) クライスマジックエンターテイメント所属アーティスト。



チェロ 阿曾沼裕司

広島市出身。愛知県立芸術大学音楽学部卒業。桐朋学園大学音楽学部研究生修了。東京音楽大学大学院音楽研究科修了。これまでにチェロを森純子、天野武子、河野文昭、松波恵子、マーティン・スタンツェライトの各氏に師事。ドイツにて、クリスティアン・ギガー、シュテファン・シュラーダーの各氏に師事。第17回日本クラシック音楽コンクール入賞。在学中、「室内楽の夕べ」、「定期演奏会」や公開マスタークラス、J1アートホール主催「期待の音大生によるアフタヌーンコンサート」など様々な機会に選抜され出演する。室内楽を白石禮子、橋山健志、百武由紀、服部芳子、細川順三の各氏に師事。Quartette d'Annamoreのメンバーとして、リゾナーレ室内楽セミナー、Phoenix Osaka弦楽四重奏マスタークラスに参加。プロオーケストラの客演奏者、また各地で室内楽セミナー講師を務める。あきクラシックコンサート実行委員会副会長。エリザベト音楽大学非常勤講師。

クラリネット 谷口里菜

山口県出身。エリザベト音楽大学を卒業。同大学卒業演奏会に出演。エリザベト音楽大学在学中に渡仏。リヨン地方音楽院の3ème cycle spécialisé (クラリネット) コースに入学。フランス国家音楽家資格を優等成績で取得し、卒業。2019年フランス、クレ・ドール国際コンクールで第2位。同年、フランス、ランブ国際コンクールで第5位。これまでに、第41回広島市新人演奏会・第36回ヤマハ新人演奏会、その他多数の新人演奏会に出演。2022年 ORIZURU国際平和音楽祭にてNHK交響楽団のメンバーとブラームスのクラリネット五重奏を演奏。これまでにクラリネットを、堀川千影、赤坂達三、Hugues SOUALHAT、三界秀実、三界達義、品川秀世の各氏に師事。現在、オンラインレッスン・タクトラのクラリネット講師。2022年度八幡記念音楽奨励学生。エリザベト音楽大学大学院在学中。



ホルン 横田真潤

広島県出身。12歳で吹奏楽部入部をきっかけにホルンを始める。東原中学校・安古市高等学校にて吹奏楽部に所属。その後広島大学教育学部第四類(生涯活動教育系)音楽文化系コースへ入学し、現在3年次に在学。これまでにホルンを故・河原完、倉持幸朋各氏に師事。